

## 安全データシート

改訂日: 2021年6月14日

## 1. 製品及び会社情報

化学品の名称  
会社名  
住所  
電話番号

水酸化ナトリウム  
米山薬品工業株式会社  
大阪府中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
CC0035

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類  
健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性: 区分1  
眼に対する重篤な損傷性・刺激性: 区分1  
特定標的臓器・全身毒性: 区分1(呼吸器)  
(単回ばく露)  
水生環境有害性 短期(急性): 区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
呼吸器の障害  
水生生物に有害

注意書き

**【安全対策】**  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
粉じんまたはミストを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
環境への放出を避けること。

**【応急措置】**  
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
吸入した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚に付着した場合には、直ちに医師に連絡すること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。  
ばく露した場合、医師に連絡すること。

**【保管】**  
容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。  
施錠して保管すること。

**【廃棄】**  
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別  
化学名  
化学式  
化学物質を特定できる一般的な番号  
成分及び含有量  
官報公示整理番号(化審法、安衛法)

単一物質  
水酸化ナトリウム  
NaOH  
CAS RN: 1310-73-2  
93%以上  
(1)-410

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合	直ちに医師に連絡すること。 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 汚染された衣類を再使用する前に、洗濯すること。 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
最も重要な兆候及び症状	皮膚： 発赤、痛み、重度の皮膚熱傷、水疱。 眼： 発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷。 経口： 灼熱感、腹痛、ショック／虚脱。 肺水腫の症状は2～3時間経過するまで現れない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱すると分解して、腐食性及び毒性の煙霧を発生するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
回収・中和	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材／二次対策防止策	水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	粉じん／ヒューム／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。 皮膚と接触しないこと。 眼に入れないこと。
接触回避	酸、湿った空気、亜鉛・アルミニウム・スズ・鉛などの金属、ある種のプラスチック・ゴム・被膜剤、アンモニウム塩、空気、湿気や水
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 強酸から離しておくこと。 金属類から離しておくこと。 アンモニウム塩から離しておくこと。 施錠して保管すること。
容器包装材料	ポリプロピレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	2mg/m <sup>3</sup>
ACGIH	TLV-STEL: 2mg/m <sup>3</sup>

設備対策	この物質の貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	白色の固体
臭い	無臭
融点・凝固点	318°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	1390°C
可燃性	不燃性固体
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性固体
引火点	不燃性固体
自然発火温度	不燃性固体
分解温度	該当情報なし。
pH	pH12(0.05% w/w), pH13(0.5% w/w), pH14(5% w/w)
動粘性率(粘度)	4.0cP(350°C)
溶解度	1g/0.9mL(水), 0.3mL(沸騰水) 1g/7.2mL(無水アルコール), 4.2mL(メタノール、グリセロール)
n-オクタノール/水分配係数	logPow=-3.88(推定値)
蒸気圧	$2.42 \times 10^{-19}$ Pa(20°C)、133Pa(739°C)
密度及び/又は相対密度	2.13g/cm <sup>3</sup> (25°C)
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	強塩基であり、酸と激しく反応し、湿った空気中で亜鉛、アルミニウム、金属に対して腐食性を示し、引火性/爆発性気体(水素)を生成する。 アンモニウム塩と反応してアンモニアを生成し、火災の危険をもたらす。 ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。 空気から二酸化炭素と水を急速に吸収する。 湿気や水に接触すると熱を発生する。 湿った空地中での亜鉛、アルミニウム、スズ、鉛などの金属との接触。 酸、湿った空気、亜鉛・アルミニウム・スズ・鉛などの金属、ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤、アンモニウム塩、空気、湿気や水。
避けるべき条件	
混触危険物質	
危険有害な分解生成物	引火性/爆発性気体(水素)、アンモニア
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: ウサギのLD50値325mg/kg(SIDS,2002)との報告があるが、げっ歯類のデータがないため、分類できない。 経皮: 該当情報なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ヒトの皮膚に対して0.5%以上で刺激性/腐食性が見られる(DFGOT vol.12(1999))との記述、及びブタ皮膚に対して8%以上で腐食性(SIDS(2002))を引き起こすとの記述から、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ヒトの眼に対して重篤で深刻な障害を引き起こすという記述(ACGIH 7th(1999))及びウサギの眼に対して1.2%以上で腐食性があるとの記述(SIDS(2002))から区分1とした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器: 該当情報なし。(分類できない) 皮膚: ヒトの皮膚での感受性試験で、感受性なしとの記述(SIDS(2002))から区分外とした。
生殖細胞変異原性	in vivoマウス骨髄用核試験で陰性(SIDS(2002))及びin vitro変異原性試験で陰性との結果(SIDS(2002))から、区分外とした。
発がん性	ラット飲水投与において、発がん性は認められないとの報告はあるが、データ不足のため分類できない。
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	ヒトの呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述から(SIDS(2002))から、区分1(呼吸器)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	ラットでの吸入反復ばく露で、肺に障害を与えるという記述(ACGIH 7th(2001))があるが、データ不足のため、分類できないとした。

誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	甲殻類(ネコゼミジンコ族)の48時間LC50=40.4mg/L(SIDS(2004))から区分3とした。
	長期: (慢性)	水溶液が強塩基となることが毒性の要因と考えられるが、環境水中では毒性影響が緩和されるため、区分外とした。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		1823
品名(国連輸送名)		水酸化ナトリウム(固体)[苛性ソーダ]
国連分類		クラス8
容器等級		II
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		154
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		劇物(第2条別表第2)
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[水酸化ナトリウム]
水質汚濁防止法		指定物質
16. その他の情報		
参考文献		NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 職場のあんぜんサイト(厚労省HP)
		記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。